

第9回日本医療教授システム学会総会 併設セミナーご案内

こちらのセミナーには、日本医療教授システム学会の非会員でもご参加できます。
3月2～3日の学会総会の参加費は不要です。

2017年3月4日(土) 広島大学 霞キャンパス

問題意識がある方がディスカッションを通して気づきやヒントを得る・
元気を回復し職場に戻ってやってみようという気持ちに流すことができます

看護管理者が育つ/育てるしくみ 9:00～13:00

ファシリテーター：浅香えみ子、津嘉山みどり

- ✓ 病院・部署のパフォーマンスを改善し、タレント（人材）の潜在能力（アビリティ）を発見・開発するためのテクノロジー（課題解決の考え方と方法）を共有する
- ✓ 看護管理者を養成する効果的・効率的・魅力的な仕組みの設計と実践の知恵と方法を共有する
- ✓ 病院における Chief Learning Officer（CLO、後述）のあり方と養成をリードするグループを形成する

対象

- ◆ 病院の看護部などで看護管理者の養成に関わる方
- ◆ 病院の看護部や部署で病院・部署のパフォーマンスを改善したりタレント（人材、看護師）の職能向上と潜在能力の開発に関わる方

参加費：JSISH 会員 5,000 円、非会員 8,000 円

教員の教材作成・指導の手間を大幅に軽減しつつ、
学ぶ楽しさを実感できる授業・演習を実現します

ゴールド・メソッドによる授業・演習改善 9:00～12:00

ファシリテーター：池上敬一、山岸智子、久宗真理

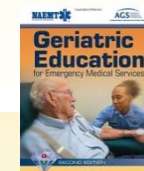
看護基礎教育では、教科書を使って、教科書に記述された知識を網羅的に教えていました。その結果、卒業試験や国家試験には合格できるようになりますが、新人看護師としての業務技能は満足できるものではありませんでした。

これからの看護基礎教育では、教科書の知識を実際の患者に応用し、患者の問題解決ができる看護師に育成することが目的になります。その学習過程で国家試験合格に必要な知識を獲得していきます。これからの看護基礎教育のデザインモデル・学習指導モデルがゴールド・メソッドになります。

このセミナーでは、ゴールド・メソッドの具体的な教材キットを示しながら、参加者が自分の講義に応用できるようになるための例示・演習・フィードバックを行います。

対象：看護基礎教育の教員

参加費：JSISH 会員 6,000 円、非会員 9,000 円



看護職を対象とした内容ですが、看護職以外の対人援助職の方も歓迎

ベッドサイドやいつもの「会話」に活かす「動機付け面接（MI）」

9:30～15:30（昼休憩 1 時間）

ファシリテーター：瀬在泉、倉本剛史

「お酒を減らしてほしい患者さんがいるんだけど、何から話しかけたら、こちらの話も聞いてくれるだろう。」「利用者さんのお話は丁寧に聞きたいけど、話がまとまらなくてなんだか疲れてしまう。」「患者さんやご家族の話に共感しなさいってよくいうけど、実のところ共感ってよく分からない。」「プリセプターをやっているけど後輩が本音をしゃべってくれなくて…。」普段のお仕事の中で、こんな場面はありませんか？

動機付け面接（MI）は、抵抗を生みず相談者自らが行動を決定するプロセスを支えるコミュニケーションアプローチです。

今回のワークショップでは、初めて MI に触れる方を対象に、MI スタイルの核となっている精神や基本的なスキルを紹介しながら、ベッドサイドや日常遭遇する「会話」の中のちょっとした工夫を、参加者の皆さんと演習を通して探していきます。

対象：看護職、病院内・病院外で対人援助を担当している方

参加費：JSISH 会員 6,000 円、非会員 9,000 円（昼食代は含みません）

高齢者の特徴を学ぶことは、
高齢者を診療する態度・スキルの向上につながります

高齢者救急対応 GEMS（NAEMT 認定）コース 9:00～17:00

ファシリテーター：松木園和也、杉木大輔、裕光司

GEMS は、高齢者に関するヘルスケアプロバイダーのうち、救急の主に初療に関わるかたに最適化されたトレーニング・プログラムですが、初療担当者以外でも高齢者救急対応スキルを高めたい方にも適しています。

今回は GEMS のうち「コア・コース」を行います。

コア・コースでは、高齢者の急病（外傷を含む）の場面で、高齢者への対応に必須である高齢者の特性やコミュニケーションの特性などを座学で学ぶほか、高齢者疑似体験や高齢傷病者の体験を含んでいます。

このコースを修了すると、それまでの高齢者への対応を自ら振り返り自身に不足していたスキルや態度がどのようなものであったか、そして、これからのケア提供がどうあるべきかを気づききっかけになります。

「医療」だけでなく「介護」も含めて、日本の地域包括ケアシステムが効果的に機能することを考える一助となることが期待されます。

多くの方が関心を持って、参加していただくことをお待ち申し上げます。

事前テストあり、英語テキスト（別途購入）、コースは日本語で行います。

修了証：4 年間有効の修了証が発行されます。

参加費：JSISH 会員 18,000 円、非会員 20,000 円（昼食含みます）

詳細お申し込みは、第9回日本医療教授システム学会総会 ホームページからどうぞ

<http://jsish.jp/mtg/>



今までの教育では主に講義などで知識を与えて「知っている」状態を目指したかもしれませんが、しかし私たち医療者には「できる」医療者になることが求められます。このコースではそんな「できる」医療者になるための学びの場創りを支援します。

「できる」医療者に育つ/育てる学習デザイン勉強会

10:00-12:00、13:00-15:00 (各回 2 時間)

ファシリテーター：松本尚浩

「できる」医療者に育つ段階として

1.一人前になるまでの段階、2.中堅者の段階、3.熟達者の段階等があります。

これらのそれぞれの段階の医療者へ育つためにこのプログラムでは、以下について学びます。

1. 国際標準の指導者技能 (ibstpi インストラクターコンピテンシー) に基づき効果的に指導するには
2. 伸び悩む中堅者が、自分の能力を伸ばすふり返り会話で発展するには
3. 熟達者の「頭のなか」を記述して教材にし、熟達者へ発達するには
4. 教育訓練の成果を現場で確認して、さらに教育訓練を改善するには

対象：医療機関の教育担当者、教育に興味を持つ医療従事者

参加費：JSISH 会員 4,000 円、非会員 8,000 円

病院単位で AHA ECC プログラムを導入したい方、地域で AHA ECC プログラムを提供する活動拠点を作ろうと考えている方、独立インストラクターを目指す方

JSISH 教育・トレーニングサイトを立ち上げよう (AHA-ECC 編)

9:00~12:00

ファシリテーター：秋場 研、飯村 知広

カークパトリックのレベル 3 以上を実現するためには、救命処置トレーニングは医療機関内で行っていくのが理想です。そのための AHA-BLS/ACLS/PALS を展開する病院内トレーニングサイト設立の方法を過去の事例から考えます。併せて地域トレーニングサイト設立・運営のノウハウについても紹介していきます。

対象：医療機関等の急変対応研修に AHA-ECC プログラムを導入したい方、地域で AHA-ECC プログラム提供拠点を考えている方、独立インストラクターとして活動したい方

病院

- ・ 病院で院内急変対応チーム設立準備委員に。会議で AHA を取り入れたらどうかと提案があった。どうしたらいいの？
- ・ AHA の PALS や ACLS を院内で開催して当院の急変対応の質をあげたい。
- ・ 部署で AHA-BLS の研修を開催して、みんなで学びたい。
- ・ AHA の研修を受講し、すごく良かった。こんな研修が院内でできればなあ。
- ・ AHA の研修をもっと安くできれば・もっと受講する人も増えるのに。

地域

- ・ 今、私たちが活動している子育て団体でも、継続して急変対応の練習をやりたい。
- ・ 地域で新しく救命講習に携わる活動をしたい
- ・ 保育園や学校対象に救命講習を提供したい
- ・ 救命講習をビジネスとしてやっていきたい
- ・ 病院外で集まって、いろんな人と勉強できる場をつくりたい。
- ・ 医療従事者だけでなく市民にも救命講習を提供したい。

参加費：無料

最新の教育テクノロジーを応用し開発した目からウロコの「救急活動プロトコール」を使って救急活動を実行することができる

救急活動プロトコール 9:00~12:30

ファシリテーター：土屋健一

救急隊員を対象としたシミュレーションコースです。救急活動基準のプロトコールに準拠した、質の高い救急活動を行うために「傷病者に最適な救急活動を考え組み立て、救急隊から病院(医師)への伝達」方法を学びます。

対象：救急隊員 または 指導的救急救命士

参加費：JSISH 会員 6,000 円、非会員 8,000 円 (昼食代は含みません)



試行錯誤や経験則だけでシミュレーション教育を行うことは学習者の迷惑につながる！このコースでは人工知能の急速な発展を支えた認知心理学の知見を活用しています。

基礎教育(医学・看護学・薬学)におけるシミュレーションシナリオを

デザインするワークショップ

13:00-16:00

ファシリテーター：池上敬一、武田聡、鈴木里美、鈴木義彦、小澤知子

すべての医療者は、それぞれの頭の中にある司令塔からの指示に従って医療行為を行っています。シミュレーション医療教育の目的は、この頭の中の司令塔が発する指令の質(論理的な妥当性とスピード)を高めることにあります。

この考え方は近年進歩が著しい人工知能のプログラム原理と同様で、その発想の源は認知心理学の発展に求めることができます。

このワークショップでは、「できる」医療者の頭の中の司令塔が発する指令、スクリプトと呼びます、を書き出し方を学ぶことで、シミュレーション医療教育の効果・効率・魅力を大幅に向上するテクノロジーを獲得します。

第8回 JSISH 総会併設コースで大好評だった内容をブラッシュアップしてお届けいたします。

対象：基礎教育の教員、臨床現場の指導者(医師、看護師など)

参加費：JSISH 会員 10,000 円、非会員 13,000 円

iOS デバイスを使った動画教材作成に興味がある方

iPad だけで完結する動画教材の作成(初心者用)

13:00-16:00

ファシリテーター：高浜賢一

動画教材に興味がある方、又は今から作成してみようと考えている方へ

Explain Everything アプリを使用して iPad だけで動画作成(編集・書き出し)してみませんか？

対象：ipad を持っている方で動画作成に興味のある方なら誰でも OK です。

受講要件：当日 iPad を持参すること

Explain Everything (無料アプリ) をダウンロードしておくこと

参加費：JSISH 会員 1,000 円、非会員 2,000 円